

農業 IT システムの用語理解をお手伝い ～農業データの有効活用を加速化～

背景；農作業や農作物を表現する語は人によって様々であり（図1）、農業 IT システムでも、ユーザーやシステム管理者が設定した項目名；農作業名や農作物名は統一されていません。このような多様な項目名は、農業 IT システムに蓄積したデータの有効かつ効率的な利用や外部データ利用の障害となります（図2_1）。



<http://www.toukei.maff.go.jp/digest/kome/kome05/kome05.html>

図1. 写真を表現する語は知識・経験・状況で様々

上記の解決策として農業 IT システムで優先的に登録すべき項目名を提供することが考えられます（図2）。

我々は農作業や農作物名を定義するシステム（図3）およびそれに基づくサービス（例；優先項目名の提案）を開発し、農業 IT システムにおけるデータの有効活用を推進します。

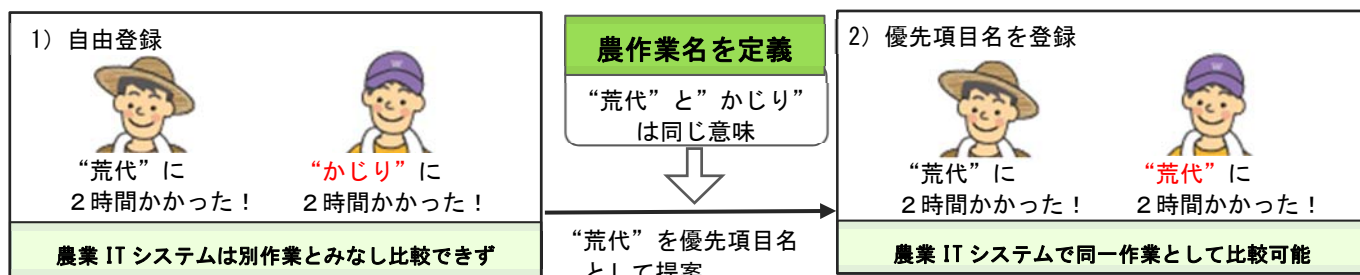
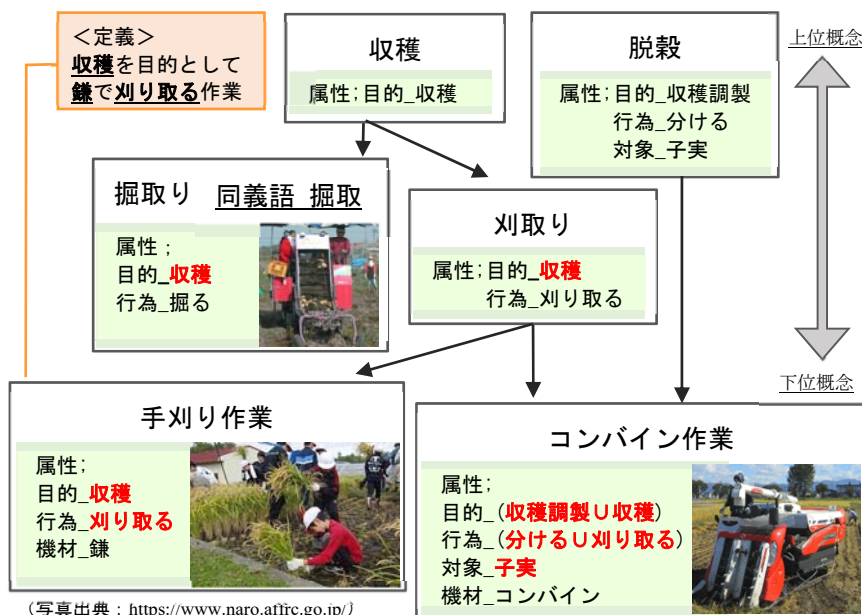


図2. 農業 IT システムで優先項目名を登録することにより作業時間の比較が可能になる！



(写真出典： <https://www.naro.affrc.go.jp/>)

図3. 「農作業名」を定義する農作業基本オントロジーの特徴

- 1) 概念単位で整理（例；“掘取り”と“掘取”は同じ概念で整理）
- 2) 属性（目的・行為・対象など）と属性値で定義
- 3) 階層構造を持ち、下位概念は上位概念の属性値を継承（例；赤字）
- 4) 農林水産省「農業 IT システムで用いる農作業の名称に関する個別ガイドライン」の用語を含む

**農作業基本オントロジー
公開中です**

<http://cavoc.org/aa/>

PREFERRED TERM	接ぎ木 つぎぎ Grafting
BROADER CONCEPT	栄養繁殖作業
NARROWER CONCEPT	呼び接ぎ 割り接ぎ
ALTERNATIVE LABEL	接木 [行為] 接ぐ [対象] 接ぎ穂 [場所] 台木

お問い合わせ; cavoc [at] nii.ac.jp